

「臨床評価」投稿規定

1. 原稿の種類

本誌には主として原著(研究報告),総説,論説などの学術論文,および編集委員会が有用と判断した解説,資料などを掲載する。ただし,学術論文は他誌に発表もしくは投稿していないものとする。

2. 原稿の採否

学術論文の採否は複数の専門家による審査にもとづいて編集委員会が決定する。掲載にあたって一部修正を求められることがある。

3. 原稿の形式

1)和文,英文どちらでも受付ける。

2)原稿の第一枚目に,①標題(和文・英文・ランダム化比較試験(randomized controlled trial;RCT)論文では標題または副題にランダム化比較試験を必ず入れる),②Key words(英文で5コ,RCT論文では被験薬,対照薬,ランダム化比較試験を必ず入れる),③著者名(和文・英文),④所属(和文・英文)を記載する。

3)抄録(abstract;和文・英文)を添付する。原著,総説などにおいては「構造化抄録」(structured abstract)^{1,2)}の形式をとる。原著の抄録においては,原則として目的(Objective),研究デザイン(Design),方法(Methods),結果(Results),結論(Conclusion)の順で記載する。

4)本文は原則として,はじめに,方法,結果,考察,結論,必要な場合は謝辞,文献の順に記す。RCT論文の場合はCONSORT声明³⁾の報告形式による。

5)図・表・写真のタイトルは英文とする。図・表・写真は頁幅に縮小しても十分読める,明瞭で鮮明なものを用意する。図・表・写真の説明文は別紙にタイプする。

6)略語は初めて使用する際に正式名を添える。測定単位は原則としてSI単位を用いる。

7)人名は原則として原語を用いる。薬品名は一般名(英文小文字)を用い,商品名は初出の一般名の後に®をつけて()書きとする。

例; haloperidol (Serenace®)

etidronate disodium (Didronel®)

8)文献はダブルスペースで,引用順に番号をつける。図表の説明文の引用文献は本文中と同じように番号をつける。文献の書式はバンクーバー・スタイル(The Vancouver Style)⁴⁻⁶⁾に従う。著者が6名以内の場合は全員記載し,7名以上の場合には最初の3名を記載し後は“他”(et al)とする。

雑誌の例

例 1. Sato T, Yoshimura I. Expectations for an international harmonized guideline. *Drug Information Journal* 1998; 32: 135-9.

例 2. 椿 広計, 藤田利治, 佐藤倚男. 誰がための臨床統計? わが国で実践された「患者の立場からの」臨床評価の原則と統計的方法の役割. *統計数理* 1998; 46: 97-115.

書籍・単行本の例

例 1. Meinert CL, Tonascia S. *Clinical trials: design, conduct, and analysis*. New York: Oxford University Press; 1986.

例 2. 名郷直樹. エビデンスと臨床の現場. In: 津谷喜一郎, 清水直容, 編. 医薬品適応外使用のエビデンス. デジタルプレス; 1999: 221-43.

9)すでに他に掲載されている資料を引用する場合は,本誌への再掲載許可書を添付する。

10)研究の実施などに企業等の経済的支援があった場合は,編集者宛にその旨別紙に記載し提出する。また,謝辞などに記すことが望ましい。臨床試験の報告の場合は,企業名,コントローラー名,解析機関などを付記する。臨床試験報告の審査に際しては,データの信頼性を保証する資料の一時的な閲覧を求めること

もある。

11)原稿は3部を送付する。2部はコピーで可。原稿はあらかじめ申し出のない限り返却しない。掲載が決まった場合は、原稿のフロッピーディスク(テキストファイル形式、マイクロソフトワード形式、TEX形式、ワードプロセッサーの場合は機種名明示)を送付する。

4. 掲載料および原稿料など

- 1)原著のうち無効報告および副作用・有害事象報告，論説，総説，解説，資料には原則として原稿料を支払う。
- 2)その他の原著論文の掲載経費は，原則として投稿者の負担とする。
- 3)別刷は原則として実費負担とする。

論文投稿先

以下の宛先に，書留等で送付。宅配便も可。

〒150・0021

東京都渋谷区恵比寿西2・3・11 メゾン・ド・エビス 502

(株)臨床評価刊行会

tel : 03・5489・6501

fax : 03・5489・6517

e-mail : cont @ nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/cont/>

参考文献

- 1)Haynes RB, Mulrow CD, Huth EJ, Altman DG, Gardner MJ. More informative abstracts revisited. *Ann Intern Med* 1990; 113(1): 69-76.
- 2)青木 仕. Structured Abstracts の有効性. *医学図書館* 1995; 42(3): 317-24.
- 3)Begg C, Cho M, Eastwood S, et al. Improving the quality of reporting of randomized controlled trials The CONSORT Statement. *JAMA* 1996; 276(8): 637-9. [津谷喜一郎, 小島千枝, 訳. 無作為化比較試験の報告の質を改善する方法 CONSORT 声明. *JAMA* 日本語版 1997年7月号: 74-7.]
- 4)International Committee of Medical Journal Editors. Uniform requirements for manuscripts submitted to biomedical journals. *Ann Intern Med* 1997; 126: 36-47. [世界の各種雑誌の投稿規定は <http://www.mco.edu/lib/instr/libinsta.html> でみることができ, Vancouver Style や上記の CONSORT Statement もここに含まれる]
- 5)吉田和彦, 山崎洋次. 「生物医学雑誌に関する統一規定」の改訂(1). *医学のあゆみ* 1998; 186(11): 812-4.
- 6)吉田和彦, 山崎洋次. 「生物医学雑誌に関する統一規定」の改訂(2). *医学のあゆみ* 1998; 186(12): 872-9.

投稿規定	第1版	1974. 4
同	第2版	1981.10
同	第3版	1984. 4
同	第4版	1999. 9